

位置情報で災害危険度を表示・防災情報閲覧投稿する 防災ソーシャルモバイルアプリケーションの開発

独立行政法人防災科学技術研究所(理事長:岡田義光)は、市民の防災意識の向上を図るために、防災への関心を喚起する災害危険度情報を提供し、位置情報と連動したコンテンツを閲覧・書き込みできる防災ソーシャルモバイルアプリケーション「みんなの防災」(以下、本アプリケーション)を開発し、公開しました。

本アプリケーションはソーシャルメディアとして若年層を中心として既に日本に定着しているmixiのモバイルアプリケーションとして、携帯電話から取得した位置情報をもとに、全国概観ハザードマップAPIから災害危険度情報を取得し、地震や水害、雪害、土砂災害などの危険度をチャート表示し、ユーザに提供します。ユーザは、提供された情報を参考に、自分の身近な危険箇所や対策事例、過去の災害履歴、街で見つけた避難所の情報などをカテゴリ別に投稿し、投稿内容をユーザ同士で評価・参照しあうことができます。投稿した内容は他のユーザに対して、簡単に日記や短文形式で発信することも可能で、防災に関するコミュニケーションの促進が期待されます。

今後は自治体や地域での活用やユーザの声を反映した改良も検討しており、様々なプラットフォーム上での災害リスク情報の展開手法の知見を活かしつつ、データの量的・質的向上にも取り組む予定です。

1. 内容:別紙資料による.
2. 本件配布先:文部科学記者会, 科学記者会, 筑波研究学園都市記者会

【内容に関するお問い合わせ】

独立行政法人防災科学技術研究所
社会防災システム研究領域
災害リスク研究ユニット
東 宏樹
電 話 : 080-4325-4503

【連絡先】

独立行政法人防災科学技術研究所
社会防災システム研究領域
アウトリーチ・国際研究推進センター
アウトリーチグループ
佐竹、松宮
電 話 : 029-863-7783
F A X : 029-851-1622

位置情報で災害危険度を表示・防災情報を閲覧投稿する 防災ソーシャルモバイルアプリケーションの開発

独立行政法人防災科学技術研究所(理事長: 岡田義光)は、広く市民の防災意識の向上を図るために、防災への関心を喚起する災害リスク情報を、若年層を中心に提供し、位置情報と連動したコンテンツを閲覧・書き込みできる防災ソーシャルモバイルアプリケーション「みんなの防災」を開発しました。

1. 「みんなの防災」の概要

当研究所では、個人一人ひとりの災害に対する意識を向上させる方法として、特に日常的に使用頻度の高い携帯電話やソーシャルメディアを用いた防災アプリケーションの研究開発を行っています。

「みんなの防災」はソーシャルメディアの中でも若年層のユーザ層を中心に市民に定着している mixi のプラットフォームを利用し、「自助」とともに「共助」を意識したアプリケーションとして開発しました。「みんなの防災」では、携帯電話で取得した位置情報を利用してその場所の災害危険度情報を取得し、提供された情報を参考に自分の身近な危険箇所や対策事例、過去の災害履歴、街で見つけた避難所の情報などをカテゴリ別に投稿し、投稿内容をユーザ同士で評価しあうことができます。投稿した内容は本アプリケーションを使用していない友人に対しても、日記形式・つぶやき形式で発信することが可能です。

2. 特長

2. 1 全国概観ハザードマップ API を使用して災害危険度情報を表示

本アプリケーションは、携帯電話で取得した位置情報をキーとして、全国概観ハザードマップ API に問い合わせることで、その地点の災害危険度情報を表示します。配信されるコンテンツ内容としては、各災害分類(地震・水害・土砂災害・雪害)の危険度のチャート表示、地震発生確率、地形分類などの詳細情報をユーザに提供します。

2. 2 「防災情報」「過去の災害」「避難所情報」の情報を閲覧・投稿が可能

ユーザは、位置情報をもとに、その場所の「防災情報」「過去の災害」「避難所情報」を投稿、閲覧することが可能です。「防災情報」カテゴリでは自分の身近な危険箇所や対策事例、「過去の災害」カテゴリではその場所の過去の災害履歴、「避難所情報」では街で見つけた避難所の情報などを投稿し、その場所で位置登録を行った他のユーザや、友人とも共有することが出来ます。

2. 3 投稿内容をユーザ同士で評価しあい、良質な投稿を集めるシステム

ユーザは、「防災情報(身近な危険や対策)」「過去の災害(履歴やヒヤリハット)」「避難所情報」について投稿された記事内容にプラスの評価(Good!)をつけることが可能です。投稿記事の評価結果は自分自身の防災ランクに反映されることで、より有益な投稿が上位に表示されるシステム

となっています。

2. 4 投稿内容は日記・つぶやき形式で簡単に発信・共有可能

本アプリケーションでは、投稿内容を日記やmixi ボイスに簡単に発信することが可能です。

2. 5 友人（マイミク）の現在地の危険度を表示

本アプリケーションでは、ソーシャルネットワーク上の友人（マイミク）が2. 1の災害危険度表示機能を用いて調べた現在地の危険度を、「マイミクの危険度を見る」から一覧表示で閲覧することが可能です。また、Top 画面の「最近の出来事」からは友人が最近表示した場所の詳細危険度情報を表示することができます。

2. 6 みんなの防災をお使いいただくには

本アプリケーションは mixi アプリモバイルによって提供され、mixi に登録すれば誰でも無料で使用でき、スマートフォン以外の携帯電話、フィーチャーフォン上で作動します。

3. 今後の展開

今後、当アプリケーションは実証実験アプリとしてβ版公開され、ユーザからの声を反映させた機能向上を通して、ユーザの使用状況に合わせ、様々なプラットフォーム上での災害リスク情報の展開手法を検証しつつ、元データの量的・質的向上にも取り組む予定です。

図. みんなの防災 (β版) 概要イメージ

